



交付運用報告書

作成対象期間

第10期

(2014年7月1日～2015年6月30日 (信託終了日))

<クラスA受益証券>

第10期末	
1口当たり純資産価格	153.79米ドル
純資産総額	1,071,020.56米ドル
第10期	
騰落率	-20.39%
1口当たり分配金額	該当事項はありません。

<クラスB受益証券>

第10期末	
1口当たり純資産価格	112.10米ドル
純資産総額	3,117,183.86米ドル
第10期	
騰落率	-20.38%
1口当たり分配金額	該当事項はありません。

(注) 騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、FC C 上場期待中国株ファンド（以下「ファンド」といいます。）は、このたび、第10期の決算を行いました。

ファンドの目的は、将来の株式公開が期待できる中国関連企業が発行する未公開株式等への間接的な投資を通じて、中長期的なキャピタル・ゲインを追求することです。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

また、ファンドは2015年6月30日に信託期間満了となりましたことをお知らせ致します。

管理会社

 **FCインベストメント・リミテッド**
(FC Investment Ltd.)

代行協会員

藍澤證券株式会社

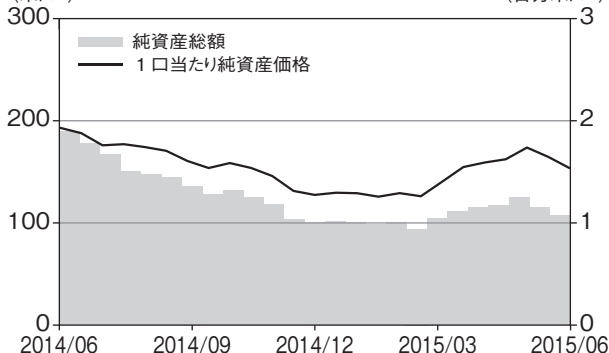
運用経過

当期の1口当たり純資産価格等の推移について

<クラスA受益証券>

純資産価格
(米ドル)

純資産総額
(百万米ドル)



(注1) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。以下同じです。

(注2) ファンドにベンチマークは設定されていません。

第9期末の1口当たり純資産価格

193.17米ドル

第10期末の1口当たり純資産価格

153.79米ドル
(分配金額：該当事項はありません。)

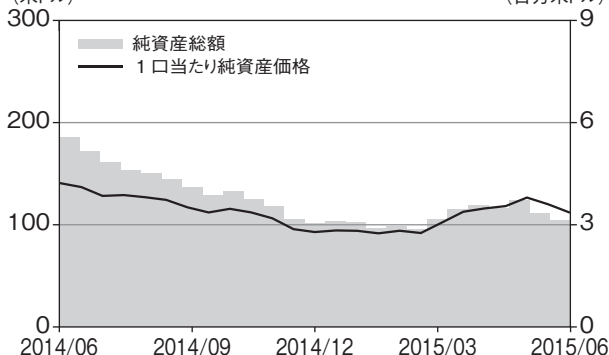
騰落率

-20.39%

<クラスB受益証券>

純資産価格
(米ドル)

純資産総額
(百万米ドル)



第9期末の1口当たり純資産価格

140.80米ドル

第10期末の1口当たり純資産価格

112.10米ドル
(分配金額：該当事項はありません。)

騰落率

-20.38%

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

1口当たり純資産価格に影響を及ぼした主な要因は、米国上場株式のNetwork CNの株価の大幅な調整、上場予定銘柄として投資したGrand Vision Communicationsの評価損、2015年1月に行われたイギリスのNaibu Globalの取引停止による株価の大幅な下落でした。

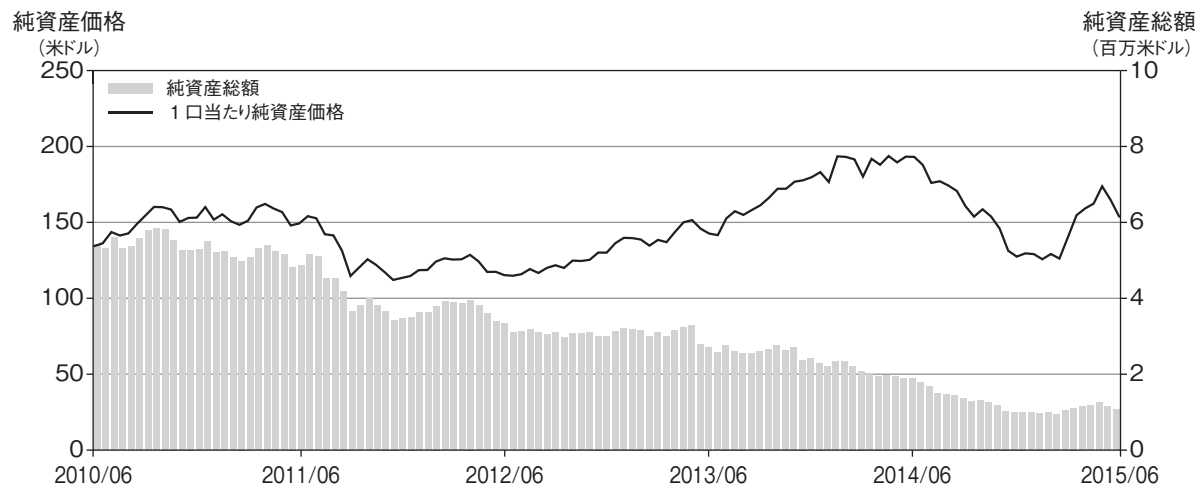
費用の明細

項目	項目の概要	
管理報酬	ファンドの純資産総額に対して年率0.3%	ファンド資産の管理・運用業務
受託報酬	ファンドの純資産総額に対して最高年率0.1%（毎月最低1,600米ドル） ファンドの登録事務代行業務に関して、年3,000米ドルを超えない額	ファンドの受託業務、登録・名義書換業務の代行業務、登録事務代行業務、管理事務代行業務および保管業務
代行協会員報酬	ファンドの純資産総額に対して年率0.2%	1口当たり純資産価格の公表、日本の法令・規則で要求される書類の提出・配布等の業務
販売報酬	ファンドの純資産総額に対して年率0.5%	口座内でのファンドの事務手続き、運用報告書等各種書類の送付、購入後の情報提供等
その他の費用（当期）	3.26%	監査報酬、弁護士報酬およびその他費用

(注) 各報酬については、目論見書に定められている料率および金額を記しています。「その他の費用（当期）」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

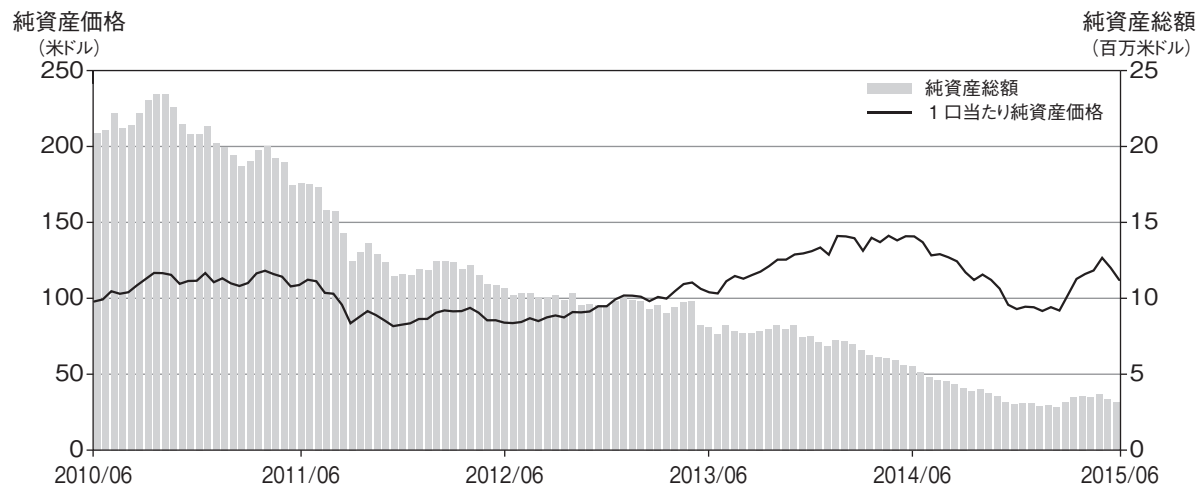
<クラスA受益証券>



	第5期末 2010年 6月末日	第6期末 2011年 6月末日	第7期末 2012年 6月末日	第8期末 2013年 6月末日	第9期末 2014年 6月末日	第10期末 2015年 6月末日
1口当たり純資産価格(米ドル)	134.42	149.34	115.31	142.66	193.17	153.79
1口当たり分配金額(米ドル)	—	該当事項はありません。				
騰落率(%)	—	11.10	-22.79	23.72	35.41	-20.39
純資産総額(米ドル)	5,415,977.20	4,870,308.83	3,325,413.58	2,719,836.16	1,889,556.82	1,071,020.56

(注) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

＜クラスB受益証券＞



	第5期末 2010年 6月末日	第6期末 2011年 6月末日	第7期末 2012年 6月末日	第8期末 2013年 6月末日	第9期末 2014年 6月末日	第10期末 2015年 6月末日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	97.94	108.80	84.00	103.98	140.80	112.10
1口当たり分配金額 (米ドル)	－	該当事項はありません。				
騰落率 (%)	－	11.09	－22.79	23.79	35.41	－20.38
純資産総額 (米ドル)	20,897,681.88	17,577,167.13	10,649,158.00	8,061,415.52	5,550,755.33	3,117,183.86

投資環境について

当期の香港株式市場と中国株式市場は大きく変動しました。2014年6月30日現在、中国CIS指数が2,156.1ポイント、ハンセン総合指数が3,179.5ポイントでした。中国CIS指数は、借入金利の低下と中国国内の証拠金貸付規制の緩和を背景に約148.5%上昇し、2015年6月に、2008年1月の過去最高値を上回る5,380.4ポイントを付けました。ハンセン総合指数も、中国の非常に堅調な市場モメンタムを追い風に、2015年4月に、2007年12月の過去最高値を上回る4,029.6ポイントを付けました。その後、両指数揃って調整し、それぞれ16.9%と9.9%値下がりし、4,473ポイントと3,630.8ポイントで2015年6月末を迎えました。同期間の米ドル指数のパフォーマンスも不安定で、79.78ポイントから19.7%高い95.53ポイントに上昇し、2015年3月には、2003年4月の過去最高値を上回る100.39ポイントを付けました。MSCIワールド指数で測定した世界の株価は相対的に安定推移し、当期のリターンは2.1%でした。米国国債10年物利回りと欧州国債10年物利回りは、2.516%から2.333%と1.252%から0.77%に、それぞれ低下しました。

ポートフォリオについて

当期は、上場予定銘柄のGrand Visionon Communications、取引停止中のNaibu Global、期限満了前のFortune Oilの不確定価格受領権（CVR）、市場で売買できないNetwork CNとGrenn Dragon GASを除くすべての銘柄を売却しました。

分配金について

該当事項はありません。

今後の運用方針

当ファンドは2015年6月末をもちまして満期償還となりました。受益者の皆様におかれましては、本ファンドを長きに渡ってご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

お知らせ

償還日以降の経過についてご報告申し上げます。

2015年6月末から2017年3月末までのCSI300指数は、2014年第4四半期から2015年第2四半期にかけて市場バブルの調整が続いたことが響いて22.7%低下し、ハンセン総合指数も8.8%低下しました。

2015年7月に各クラスの1口当たりの償還中間金として、FC C 上場期待中国株ファンドクラスA受益証券107.65米ドル、FC C 上場期待中国株ファンドクラスB受益証券78.47米ドルをお支払いしました。

2015年7月から10月にかけて、Green Dragon Gasの全保有株（76,591株）とNetwork CNの保有株一部（22,900株）を市場で売却いたしました。2016年4月から5月までの期間に、Network CNの残りの全保有株（213,100株）を、1株当たりの平均金額0.0422米ドルで、市場で売却しました。2016年3月には、Fortune OilのCVRが期間満了を迎えましたが、トリガー事由の条件が充足されず、CVRの対価が支払われませんでした。2017年1月に、数か月間の交渉の末、シンガポールで認可を取得している上場予定銘柄の投資信託に、非上場のGrand Vision Communicationsの全保有株（300株）を100,000米ドルで売却いたしました。Naibu Globalは2015年に上場廃止となり、その後も売却先を模索しておりましたが、第三者への売却活動に更なる時間と費用がかかることが懸念されたため、無価値で処分いたしました。

全ての資産の売却または処分が完了いたしましたので、2017年5月に各クラスの1口当たりの償還金残額として、FC C 上場期待中国株ファンドクラスA受益証券22.67米ドル、FC C 上場期待中国株ファンドクラスB受益証券16.52米ドルをお支払いしました。

各クラスの1口当たりの最終償還金合計額^(注)は、FC C 上場期待中国株ファンドクラスA受益証券130.32米ドル、FC C 上場期待中国株ファンドクラスB受益証券94.99米ドルとなりました。

(注) ファンドの信託終了日である2015年6月30日現在の1口当たり純資産価格（FC C 上場期待中国株ファンドクラスA受益証券は153.79米ドル、FC C 上場期待中国株ファンドクラスB受益証券は112.10米ドル）との差異は、主に投資対象銘柄の価格の下落の他、清算費用の見積り額と実際に支払った金額に相違があったことによるものです。

ファンドの概要

ファンド形態	ケイマン籍／契約型／外国投資信託（米ドル建て）
信託期間	2015年6月30日まで
運用方針	ファンドの目的は、将来の株式公開が期待できる中国関連企業が発行する未公開株式等への間接的な投資を通じて、中長期的なキャピタル・ゲインを追求することです。また、ファンドは、中国関連企業の上場株式等にも間接的に投資します。
主要投資対象	中国関連企業が発行する未公開株式等および上場株式等
ファンドの運用方法	管理会社は、免税リミテッド・パートナーシップ法の下で設定された1つまたは複数のケイマン諸島免税リミテッド・パートナーシップに投資します。 管理会社が、各リミテッド・パートナーに対するファンド資産の配分を行います。リミテッド・パートナーシップのジェネラル・パートナーであるJPEキャピタル・マネジメント・リミテッドによりリミテッド・パートナーシップの投資運用会社に任命された建銀国際資産管理有限公司（以下「LP投資運用会社」といいます。）が中国関連企業が発行する未公開株式等および上場株式等に対する投資判断を行います。
主な投資制限	管理会社は、ファンドの資産の管理運用を、以下の投資制限の範囲内で行わなければなりません。 1. 空売りの制限 空売りを行なった有価証券の時価総額はファンドの純資産総額を超えてはなりません。 2. 借入の制限 管理会社はファンドの純資産総額の10%の範囲内でのみ借入を行うことができます。 3. 流動性に欠ける資産への投資制限 管理会社は私募株式、非上場株式または不動産などの換価が容易でない資産の保有額がファンドの純資産総額の15%を超える場合には、価格の透明性を確保する方法をとります。 4. 集中投資の制限 管理会社は、当該取得の結果、LP投資運用会社または管理会社が運用する複数のミューチュアル・ファンド全部が保有する投資法人ではない1つの会社の議決権付株式総数が当該会社の発行済議決権付株式総数の50%を超える場合に、当該会社の株式を取得することはできません。 5. 管理会社はファンドのために、当該取得の結果、ファンドの保有する1つの会社の株式総数が当該会社の発行済株式総数の10%を超える場合に、当該会社の株式を取得することはできません。 6. 管理会社はファンドのために管理会社自身またはその取締役本人と取引することはできません。 7. 管理会社は、受益者の利益を損なうか、またはファンドの資産の適切な運用に違反する取引（管理会社または受益者以外の第三者の利益を図る取引を含みますが、これらに限りません。）を行うことはできません。
分配方針	管理会社はその単独の裁量に基づく決定により、ファンドの純収益および実現・未実現キャピタルゲインから、分配を行うことができます。分配金の一部またはすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。 管理会社は現在、ファンド証券に関して分配金の支払いを予定していません。

参考情報

ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較

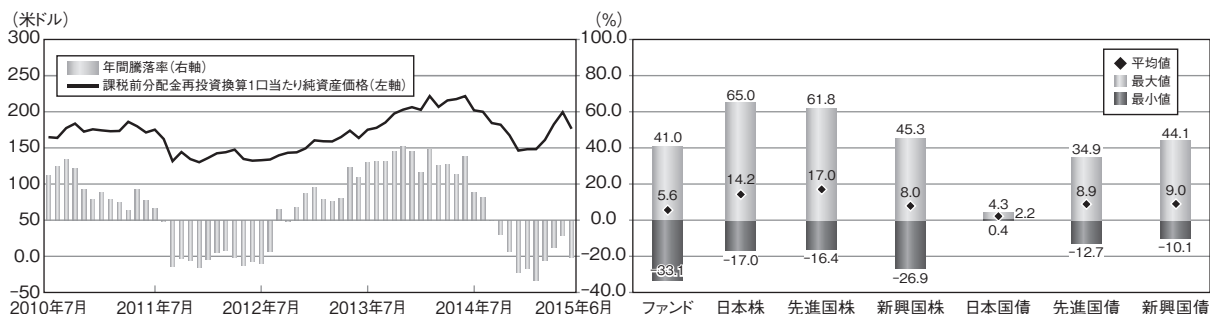
ファンドの課税前分配金再投資換算 1 口当たり
純資産価格・年間騰落率の推移

2010年7月～2015年6月の5年間におけるファンドの課税前分配金再投資換算 1 口当たり純資産価格（各月末時点）と、年間騰落率（各月末時点）の推移を示したものです。

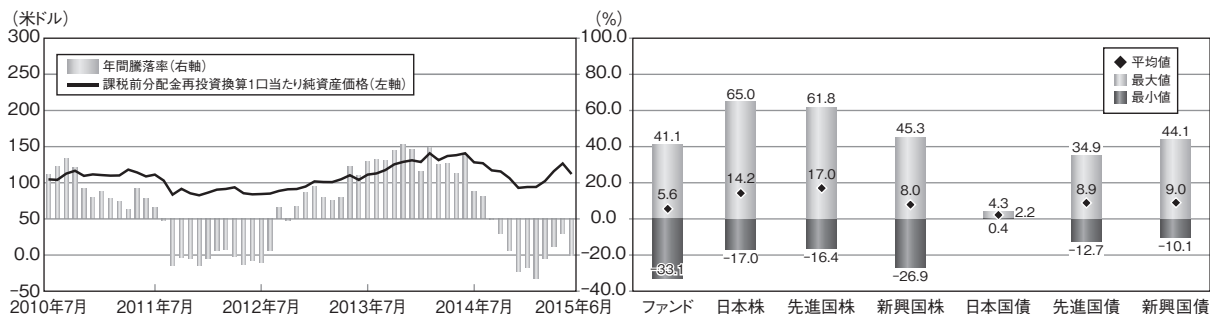
ファンドと代表的な資産クラスとの
年間騰落率の比較

このグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、左のグラフと同じ期間における年間騰落率（各月末時点）の平均と振れ幅を、ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。

<クラスA受益証券>



<クラスB受益証券>



出所：Bloomberg L.P. および指数提供会社のデータを基に
FC インベストメント・リミテッドが作成

- ※課税前分配金再投資換算 1 口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したものです。ただし、2010 年 7 月～2015 年 6 月において、ファンドについては分配金の支払実績はないため、課税前分配金再投資換算 1 口当たり純資産価格は 1 口当たり純資産価格と等しくなります。
- ※ファンドの年間騰落率（各月末時点）は、各月末とその 1 年前における課税前分配金再投資換算 1 口当たり純資産価格を対比して、その騰落率を算出したものです。
- ※ファンドの年間騰落率は、ファンドの基準通貨である米ドル建てで計算されており、円貨に為替換算されておりません。したがって、円貨に為替換算した場合、上記とは異なる騰落率となります。
- ※代表的な資産クラスの年間騰落率（各月末時点）は、各月末とその 1 年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。
- ※ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の 5 年間の各月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。
- ※ファンドは代表的な資産クラスの全てに投資するものではありません。

○各資産クラスの指数

日 本 株…TOPIX（配当込み）

先進国株…ラッセル先進国（除く日本）大型株インデックス

新興国株…S&P 新興国総合指数

日本国債…ブルームバーグ／EFFAS ボンド・インデックス・ジャパン・ガバメント・オール（1 年超）

先進国債…シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…シティ新興国市場国債インデックス（円ベース）

（注）ラッセル先進国（除く日本）大型株インデックスおよび S&P 新興国総合指数は、Bloomberg L.P. が円換算しています。

TOPIX（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所（以下「**㈱東京証券取引所**」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、**㈱東京証券取引所**が有しています。なお、ファンドは、**㈱東京証券取引所**により提供、保証または販売されるものではなく、**㈱東京証券取引所**は、ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

ラッセル・インデックスに関連する登録商標、トレードマーク、サービスマークおよび著作権等の知的財産権、指数値の算出、利用その他一切の権利は、ラッセル・インベストメントに帰属します。インデックスは資産運用管理の対象とはなりません。またインデックス自体は直接的に投資の対象となるものではありません。

シティ世界国債インデックスおよび**シティ新興国市場国債インデックス**は Citigroup Index LLC により開発、算出および公表されている債券インデックスです。

ファンドデータ

ファンドの組入資産の内容

(第10期末現在)

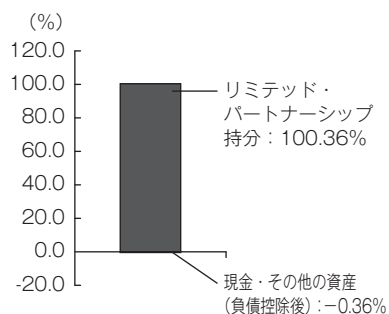
・組入上位資産

(組入銘柄数：2銘柄)

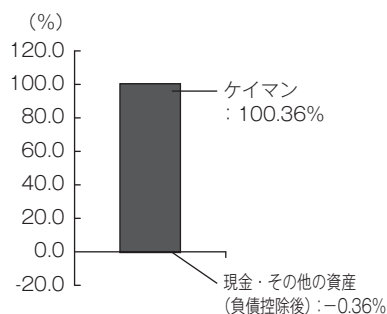
順位	銘柄	組入比率 (%)
1	CPE I L.P.	91.62
2	CPE II L.P.	8.74

(注) 組入比率は純資産総額に対する各組入銘柄の評価額の割合です。

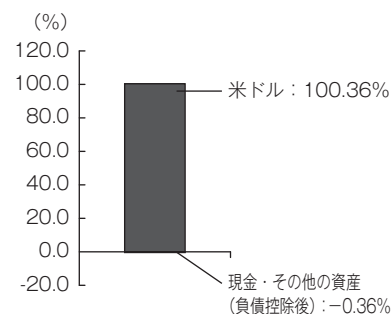
・資産別配分



・地域別配分



・通貨別配分



(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

純資産等

項 目	第10期末	
純資産総額	クラスA受益証券	1,071,020.56米ドル
	クラスB受益証券	3,117,183.86米ドル
発行済口数	クラスA受益証券	6,964口
	クラスB受益証券	27,807口
1口当たり純資産価格	クラスA受益証券	153.79米ドル
	クラスB受益証券	112.10米ドル

	第10期		
	販売口数	買戻口数	発行済口数
クラスA受益証券	0 (0)	2,818 (2,818)	6,964 (6,964)
クラスB受益証券	0 (0)	11,616 (11,616)	27,807 (27,807)

(注) () の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。